

研究課題名	体外式膜型肺を要する急性呼吸不全患者の予後予測モデルの開発
研究期間	2024年12月2日～2026年3月31日
研究の対象	2000年1月1日～2025年5月31日の間に対外式膜型肺を用いた治療を受けられた急性呼吸不全患者さんで、先行研究E2021-2768「体外式膜型肺を要する急性呼吸不全患者の胸部CT画像に関する画像データベースの構築」にて全国の医療機関を通して診療情報を提供していただいた方
研究の目的・方法	研究目的：対外式膜型肺が必要な患者の予後を予測することを目的としています。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、治療が成功し生存し退院されるかどうかを予測するモデルを作成します。ご参加いただいたE2021-2768「体外式膜型肺を要する急性呼吸不全患者の胸部CT画像に関する画像データベースの構築」のデータを用いて、解析を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、病歴、血液検査結果、画像検査結果等
利用または提供を開始する予定日	2024年12月2日
個人情報の保護	E2021-2768で集められた情報は、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないように加工されています。そのため広島大学病院以外の機関に受診された患者さんは研究への参加を取りやめることはできません。 なお、広島大学病院の患者さんは、当科においてこの研究用の番号を元の氏名等に戻す操作を行うことができます。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究開発分野 助教 京 道人
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究開発分野
担当者：助教 京 道人

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3
電話番号：082-257-5456